

歯科材料 5 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科用象牙質接着材
JMDN コード：42483002

シングル ボンド プラス

【禁忌・禁止】

本材及びメタクリレート系モノマーに対して、発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 本材はボトルタイプの接着材である。

性状	組成
液体	HEMA、メタクリレート、ポリカルボン酸、エタノール、シリカ、精製水、その他

2. 原理

本材は、光硬化型歯科用象牙質接着材であり、エナメル質に対する接着材として用いることもできる。また、本材は光の照射時に発生するフリーラジカルが引き起こす架橋による重合反応を利用したものである。

【使用目的又は効果】

象牙質を含む窩洞・欠損への接着に用いること。

【使用方法等】

－エナメル質及び象牙質の光重合による直接修復－

1. 窩洞形成、防湿、歯髄保護

通法に従って窩洞形成を行い、水洗、乾燥を行う。窩洞が深い場合には歯髄保護のため、水酸化カルシウム製剤を使用する。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

1) 万一露髄が起こった場合で、直接覆髄が必要な場合には、少量の水酸化カルシウム製剤を用いた後に別売りのビトラボンド™ 光重合グラスアイオノマー裏装材で裏装する。またきわめて深い窩洞の場合もビトラボンド™ 光重合グラスアイオノマー裏装材で裏装する。

2) 形成時の切削片を除去する。

3) ラバーダムにて防湿を行う。

2. エッチング

当該するエナメル質と象牙質を別売のスコッチボンド™ エッチャント又はスコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジで 15 秒間エッチングを行う。その後 10 秒間洗浄する。その後、窩洞にたまっている水をブロッティングにて取り除く。歯面は湿潤状態を保つ。特にエッチング後の象牙質が乾燥すると接着力が低下する。

ブロッティング：綿球にて水を吸い取ることを言う。この際に歯面をこすらないように注意すること。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

1) エッチングが正しく行われたかどうかは、処理部エナメル質の白濁の有無を確認すること。

2) エッチング後に歯面が唾液で汚染された場合は、5 秒間再度エッチングをやり直すこと。

3) 患者および術者は眼の保護具を着用すること。

4) エッチング終了時の水洗によりエッチング材が飛び散ることがある。患者の顔面などへ飛散しないよう注意すること。

5) 不用意にエッチング材に触れる事故を防ぐため、使用後に残ったエッチング材は水で洗い流すこと。

3. 本材接着材の採取

1) キャップの両サイドを指でつまみ後方に引き上げて開け、ノズルを出す。

2) 混和皿等に本材を 1 滴取り出す。

3) 使用後は直ちにキャップをカチッと音がするまで閉める。

4. 本材接着材の塗布

エッチングされたエナメル質と象牙質に、15 秒間の間に本材を 2、3 回続けて塗布し、塗り広げる。塗布面をゆるやかなエアード、波を打っていた本材が動かなくなるまで約 5 秒間十分に乾燥する。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

1) 使用後は溶剤のアルコールの蒸発を防ぐために直ちにキャップを閉めること。

2) 使用後は液出口のふき取りを行い清潔に保つこと。

3) エッチング・水洗後の歯面を乾燥させずに湿った状態で本材を塗布し、本材のアルコールを十分に乾燥すること。

4) 溶剤のアルコールが残ると光硬化が妨げられるので注意すること。

5) 使用後の皿はへこみをティッシュで拭き取り、アルコールなどできれいにした後、水洗すること。

5. 乾燥後 10 秒間光照射を行う。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

1) 照射時間は、3M 製または同等の光強度（400mW/cm²以上）のハロゲンランプ照射器を想定している。実際の使用前に本品が確実に硬化する条件を確認すること。

2) 常に十分な光量を得るには、光照射器の定期点検が必要である。信頼できるメーターを使って定期的に出力を確認すること。

6. コンボジットレジンの充填

3M 製コンボジットレジにて充填し、仕上げ研磨を行う。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

充填にあたっては光照射を十分にいき、シェード毎の照射厚みと時間を守り、必要に応じて積層充填をすること。

－ポーセレンベニアの接着－

1. シラン処理：技工室にてポーセレンの接着面を適切に処理する。別売りのリライエックス™ セラミック プライマーをベニアの接着面に塗布し、5 秒間乾燥する。

2. 歯面清掃を行う。

3. 別売りのリライエックス™ トライインペーストを使用して用いるセメントの色調を選択する。透明なマトリックステープ等を隔壁として隣接歯との接触を避ける。

4. エッチング処理：スコッチボンド™ エッチャントを塗布し、15 秒間放置後、10 秒間水洗する。余分な水気を綿球や小さなスポンジで吸い取る。表面は水がなくても光沢がある。ダイヤモンドバー等を使用しなかった歯にはさらに 15 秒間エッチングすることができる。

5. 接着処理：水気を吸い取ったら直ちに、15 秒間の間に本材を 2、3 回続けて塗布し、塗り広げる。約 5 秒間微風をあて溶剤を飛ばす。光重合しないこと。

6. ベニアの接着：シラン処理したベニアに本材を 1 回塗布する。完全に乾燥させる。光重合しないこと。

7. 別売りのリライエックス™ ベニアセメントペーストをベニアの被着面に塗布する。

8. 装着と光重合：ベニアをゆっくりと装着する。ベニア辺縁部の余剰セメントを除去する。はじめに歯肉縁部を重合することを推奨する。その後ボディ部及び切縁部を重合する。重合している間光源には触れないこと。光照射中は光源を直接眼でみないこと。

ーコンポジットレジン[®]の補修修復ー

1. 防湿を行う。
2. 既存修復物の粗面化：既存のコンポジットレジン[®]の表面をダイヤモンドバーやサンドブラスト等によって粗面化する。
3. エッチング処理：スコッチボンド[™] エッチャントをエナメル質、象牙質及び既存の修復物に塗布し、15 秒間放置する。その後 10 秒間水洗を行う。余分な水気を綿球又は小さなスポンジで吸い取ること。塗布した表面は水がなくても光沢がある。
4. 接着処理：水気を吸い取ったら直ちに、エッチングしたエナメル質、象牙質及び修復物に 15 秒間の間に本材を 2,3 回続けて塗布し、塗り広げる。約 5 秒間微風をあて溶剤を飛ばす。10 秒間光照射を行う。
5. 光重合型コンポジットレジンによる補修修復を行う。

ーポーセレンの破折修理ー

1. 防湿を行う。
2. 準備：修復する表面を清掃する。その後水洗し、完全に乾燥させる。ダイヤモンドバー又はサンドブラスト等で既存の金属又はポーセレンの表面を粗造化する。ポーセレンが緩んでいるところはゆっくり取り除き、マージン部分には幅 1 mm のベベルをつける。
3. エッチング処理：スコッチボンド[™] エッチャントをすべての被着体に塗布し、15 秒間放置する。10 秒間水洗し、5 秒間乾燥する。
4. ポーセレンと金属のシラン処理：リライエックス[™] セラミック プライマーをエッチング処理した表面に塗布し、乾燥する。
5. 接着処理：シラン処理したポーセレン又は金属表面に本材を 2 回塗布する。約 5 秒間微風で乾燥する。10 秒間光重合を行う。
6. マスキング：補修修復に用いるコンポジットレジン[®]を築盛する前に金属表面を遮蔽するため、マスキング材を薄く塗布する。
7. 光重合型コンポジットレジンによる補修修復を行う。

ー根管ポストの接着ー

1. ポストを必要に応じ試適し調整する。根管ポストの接着はアルミナサンドブラストなどで必要に応じて処理した後、リライエックス[™] セラミック プライマーを処理する。
2. エッチング処理：スコッチボンド[™] エッチャントを歯質に塗布する。15 秒放置し、10 秒間水洗し、2 秒間乾燥する。余分な水気を吸水性のペーパーポイントを用いて取り除く。
3. 接着処理：エッチングしたエナメル質及び象牙質表面に本材を均一に塗布する。余剰な本材は吸水性ペーパーポイントで取り除く。約 5 秒間微風をあて溶剤を飛ばす
4. 10 秒間光照射を行う。(光重合させるため、適当なサイズの光透過性のポストを使用する場合がある。)
5. 歯科用セメントを適量練板紙に取り、10 秒間練和する。
6. 接着材を塗布した表面に歯科用セメントを塗布する。練和した歯科用セメントを薄くポストに塗布する。
7. ポストを挿入する。ポストを固定したまま、余剰セメントを取り除く。咬合面から 40 秒間光照射し、直ちに支台築造用材料を築盛する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意
 - 1) 本材はメタクリレート類を含有している。メタクリレート類は接触アレルギーとして知られている。これらの材料の付着によるアレルギー反応のリスクを減少させるために、
 - (1) 接触を最小限にすること。特に未重合の液への接触を避けること。
 - (2) 保護手袋を使用すること。
 - (3) 万一液が皮膚、粘膜に付着した場合には、すぐに大量の流水で十分に洗い流すこと。
 - (4) ゴム手袋ではメタクリレート類が浸透することが知られているので、液が付着した場合はすぐ手袋を捨ててしっかりと大量の流水で手を洗い、その後新しい手袋を着用すること。
 - (5) もし、炎症が続く場合には、専門医の診察を受けること。

- (6) 患者、医療従事者を守るために保護めがねなどを着用すること。
 - (7) 万一、眼に入った場合には、すぐに大量の流水で十分に洗浄して専門医（眼科医）の診察を受けること。
- 2) 本材は約 21～24℃で使われるように設計されている。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
 - 1) 2～27℃
 - 2) ユージノール系製品と同じ場所には保管しないこと。
 - 3) 本材を高温または直射日光にさらさないこと。
2. 有効期間
包装に記載[自己認証(製造元データによる)]

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

- * 名称：スリーエム ジャパン イノベーション株式会社
** TEL：0120-332-329 (カスタマーコールセンター)

外国製造所の国名及び製造業者の名称

- ** 米国、スリーエム ヘルスケア ユーエス オプコ エルエルシー
(3M Healthcare US Opco LLC)

ビトラボンド、スコッチボンド、リライエックスは 3M 社の商標です。